

職員の声や意見が市政運営に反映される制度の再構築について（概要）

新行財政改革プラン

- 多様な政策課題に対応する行政体制の確立
- ・ 効率的な行政経営基盤の確立
  - 職員の人材育成と意識改革のさらなる推進
    - ◇ 職員意識の向上が市政運営に反映される制度の構築

幹部職員とのコミュニケーション環境の醸成・強化

定期的なミーティングの開催など、若手職員を中心に、幹部職員とのコミュニケーションを活発化させて、職員の市政に対する見識をより高め、市政運営へのビジョンを共有化することにより、職員の意識改革を図ります。

多くの職員が提案し検討に参加するしくみの構築

職員が市政について主体的な意識を持ち、やりがいを感じて業務に取り組むことができるように、職員が考える市政への提案を活発に発表できる場を設け、職員で議論できる制度を構築します。

職員の提案を共有し市政に反映するしくみの構築

職員が発案した市政への提案を着実に反映するため、庁内における検討・調整機能を強化するとともに、その時点では反映できなくても、後に反映する可能性のある取組は、数年間にわたり庁内で広く情報共有できるしくみを構築します。

平成 21 年度からの取組

職員提案制度 規程：昭和 39 年 2 月 18 日

概要：広く職員から事務及び事業に関する改善意見を求め、職員の改善への意欲及び企画力を高めるとともに、行政サービスの向上を図る。

テーマの設定  
【平成 21 年度のテーマ】

No.	テーマ	
1	戦略的な情報発信	戦略的な広報手法 わかりやすい財政状況の公表
2	新産業の創出及び国際経済施策の推進における取組	
3	公共建築物の適正な管理	
4	市民とつくる快適な道路環境づくり	
5	お客様の立場にたった市バスサービス向上施策	
6	効果的な魅力 PR 手法	市職員として働くことの魅力 PR 手法 宮前区をセールスしてください！
7	地域コミュニティの担い手の育成	

職員が参加しやすい環境の整備  
※提案をイントラに掲出し共有化  
※人事評価制度との連携

チャレンジかわさき選手権(チャレ☆かわ)＝新規

全庁的な発表会の新設（22 年 2 月実施予定）  
※職員提案、研究成果、業務改善の発表。  
※優秀な発表については、全国大会への参加を検討。  
※庁内有志による実行委員会形式による開催を予定。



職員の声制度 要綱：平成 14 年 6 月 1 日

概要：市長と職員の双方向的な意見交換の場を設け、市長が職員へメッセージを発信、職員が市長に意見を述べ、意見を市政に反映。

積極的な市長メッセージの提供  
※市長メッセージの定期的な更新  
※市長講話などの動画配信



定期的な職員意見の聴取  
※毎年度テーマを設定し募集  
※イントラネットを活用し、意見募集、集約、公表する。

オフサイトミーティングの開催＝新規

概要：市長・副市長と若手職員の市政運営のビジョンの共有化と風通しのよい組織風土づくりをめざし、自由に意見交換ができる場として開催。

第 1 回（市長ミーティング）  
平成 21 年 7 月 15 日（水）に中原区役所で開催。  
35 歳以下の若手職員 15 名が参加。

【平成 21 年度の実施予定】  
毎月 1 回のペースで市長・副市長各 2 回ずつの開催を予定している。